

人間拡張技術が成し得る Human Innovation

日時 | 2023. 4.3 MON 13:00-18:00 (ネットワーキングを含む)

会場 | メイン会場(東京、大阪)とオンライン配信を予定しています。
●東京会場：日本橋ライフサイエンスハブ
東京都中央区日本橋室町1-5-5 室町ちばぎん三井ビルディング8階(COREDO室町3)
●大阪会場：ライフサイエンスハブウエスト
大阪府大阪市中央区備後町4-1-3 御堂筋三井ビルディング4階
●オンライン配信：Zoomを使用いたします
※メイン会場(東京、大阪)ではネットワーキングを実施予定です。
※COVID-19の状況次第では全編オンラインでの開催となる可能性がございます

主催 | 一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)

後援 | 厚生労働省、経済産業省 (申請中)

協力 | 国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科・医学部附属病院
産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ

Program

「人間拡張技術が成し得るHuman Innovation」と題し、AIやIoTなどのテクノロジーを用いた機械との融合、身体能力の向上を実現する技術について、主に医療分野を中心とした最先端技術や実用化事例をテーマにシンポジウムを開催いたします。

基調講演として東京からは、産業技術総合研究所人間拡張研究センターの持丸正明先生、大阪からは大阪大学基礎工学研究科教授である石黒浩先生にご講演いただく他、人間工学からブレイン・マシン・インターフェース、メタバース技術に至るまで、東西の講演者、計7名よりご講演およびパネルディスカッションを行います。

本シンポジウムは、大阪をはじめとした関西エリアと東京日本橋エリアの「連携」を目的に開催いたします。東西の持つ資源やネットワークを活かし、ライフサイエンス領域における様々な取り組みについて緊密に連携・協力することで、大阪/関西で活躍する研究機関・企業と、東京エリアで活動する研究機関・企業とのオープンイノベーション促進および新産業創造を目指します。

13:00-13:05 開会挨拶

場所：大阪会場

澤 芳樹

LINK-J 副理事長／大阪大学大学院医学系研究科 特任教授／大阪警察病院 院長

13:05-14:00 基調講演 1

場所：東京会場

「人間拡張技術で拓くインターバース・サービス市場」

持丸 正明

国立研究開発法人産業技術総合研究所 人間拡張研究センター・研究センター長

14:00-14:55 基調講演 2

場所：大阪会場

「アバターと未来社会」

石黒 浩

大阪大学基礎工学研究科教授／ATR 石黒浩特別研究所客員所長

14:55-15:10 休憩

15:10-15:30 講演 1

場所：東京会場

「意識の科学から意識のアップロードへ

- 鍵をにぎる神経束断面計測型ブレイン・マシン・インターフェースとその応用 -」

渡辺 正峰

東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻

15:30-15:50

講演 2

場所：大阪会場

「体内植込み型 BMI（ブレインマシンインターフェース）の社会実装」

平田 雅之

大阪大学大学院医学系研究科 脳機能診断再建学共同研究講座 特任教授

15:50-16:10

講演 3

場所：東京会場

「メタバース空間上の BodySharing」

玉城 絵美

H2L, Inc. CEO / 琉球大学 工学部 教授

16:10-16:20

休憩

16:20-17:10

パネルディスカッション

場所：大阪会場

モデレーター 鈴木 寛 東京大学大学院 教授

17:10-18:00

ネットワーキング

場所：東京・大阪会場

開会挨拶



澤 芳樹

LINK-J 副理事長 /
大阪大学大学院医学系研究科 特任教授 /
大阪警察病院 院長

2006年 大阪大学大学院医学系研究科心臓血管・呼吸器外科主任教授、同年未来医療センターセンター長就任。2015年 一般社団法人日本再生医療学会理事長、大阪大学大学院医学系研究科 研究科長・医学部長就任。2019年 特定非営利活動法人日本胸部外科学会理事長就任。現在は、大阪警察病院院長、大阪大学大学院医学系研究科特任教授。

基調講演 1



持丸 正明

国立研究開発法人産業技術総合研究所 人間拡張研究センター・研究センター長

1993年、慶應義塾大学大学院博士課程生体医工学専攻修了。博士(工学)。同年、工業技術院生命工学工業技術研究所入所。2001年、改組により産業技術総合研究所。デジタルヒューマン工学研究センター長、サービス工学研究センター長、人間情報研究部門長を経て、2018年より、現職。専門は人間工学、バイオメカニクス、サービス工学。

基調講演 2

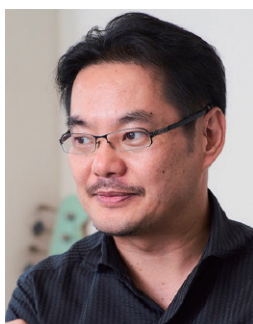


石黒 浩

大阪大学基礎工学研究科教授
ATR 石黒浩特別研究所客員所長

ロボット工学者。大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻(栄誉教授)、ATR石黒浩特別研究所客員所長(ATRフェロー)。遠隔操作ロボットや知能ロボットの研究開発に従事。人間酷似型ロボット(アンドロイド)研究の第一人者。2011年、大阪文化賞受賞。2015年、文部科学大臣表彰受賞およびシェイク・ムハンマド・ビン・ラーシド・アール・マクトゥーム知識賞受賞。2020年、立石賞受賞。

講演 1



渡辺 正峰

東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻

東京大学大学院工学系研究科准教授。専門は神経科学、意識の科学。98年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。2001年から同助教授、カリフォルニア工科大学在外研究員、マックスプランク研究所客員研究員などの兼職を経て現職。著書に『脳の意識 機械の意識』(中央公論新社)、同中国語版、増補英語版“From Biological to Artificial Consciousness” (Springer)等

講演 2



平田 雅之

大阪大学大学院医学系研究科 脳機能診断再建学共同研究講座 特任教授

1987年東京大学大学院工学系研究科を修了。自動車会社にてシャシー開発に従事した後、1994年大阪大学医学部医学科を卒業。大阪大学大学院医学系研究科にて博士を取得後、同 機能診断科学 助教、同 脳神経外科学 特任准教授、大阪大学国際医工情報センター臨床神経医工学 寄附研究部門教授を経て、2019年より現職。医学、工学、産業分野での経験をフルに活かして、体内植込み型BMIの実用化に取り組んでいる。

講演 3



玉城 絵美

H2L, Inc. CEO, 琉球大学 工学部 教授

人間とコンピュータの間で身体感覚を伝達するBodySharing技術の研究と事業開発に従事。2010年東京大学大学院で博士号取得、総長賞受賞。2012年H2L(株)創業。2020年より5Gと連携した遠隔での体験共有システムを多数提案。

パネルディスカッションモデレーター



鈴木 寛

東京大学大学院 教授

東京大学公共政策大学院教授。1964年生まれ。東京大学法学部卒。通商産業省、慶應義塾大学環境情報学部助教授を経て、参議院議員。参議院議員在任中、福島県立大野病院事件一審無罪判決確定に奔走。文部科学副大臣として崩壊の危機にあった高度医療提供体制や大学病院再建に邁進。また医療イノベーション促進関連の法整備に尽力。アカデミア復帰後は、日本橋を中心としたLINK-J構想・創設や神奈川県立大学ヘルス・イノベーション・スクールの立上げをリード。